



プロの技で学校を修繕 技能協会が奉仕活動

町内で働く建築士や電気技士などで構成される、栗山町技能協会の会員 13 人が 4 月 2 日、町内小中学校の修繕作業を行いました。平成 22 年から続く奉仕活動で、今年で 12 回目。会員は各学校に向かい、それぞれが得意とする分野の作業を手際よくこなしました。このうち栗山中学校では、教室のベニア壁の補修や、保健室の引き戸の改善などを実施しました。



華やかな庁舎のために たかはしダリアが洋ランを寄贈

花と緑の部屋「たかはしダリア」の高橋和則店長が 3 月 22 日、コショウランやデンドロビウムなどの洋ラン 13 鉢を町に寄贈しました。同店が毎年町に寄贈しているもので、高橋店長は洋ランごとの特徴や適性温度などを佐々木学町長に説明。寄贈された洋ランは、新庁舎 1 階のロビーなどに飾られました。



夢と希望ある学校生活を 町内の学校で入学式

町内の学校で、総勢 213 人の入学式が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席者の制限や時間短縮など規模を縮小して実施。緊張しながらも入学式に臨んだ新入生は、自己紹介や代表あいさつをしっかりと務め、学校生活のスタートを切りました。

【各学校の新入生の数】

- ・栗山小学校 新入生 59 人
- ・角田小学校 新入生 8 人
- ・継立小学校 新入生 12 人
- ・栗山中学校 新入生 67 人
- ・栗山高等学校 新入生 40 人
- ・北海道介護福祉学校 新入生 27 人



継立小学校



角田小学校

道内初「体験の機会の場」に認定 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスが、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に認定され、4 月 9 日、NPO 法人雨煙別学校の松原由典理事長が南條宏教育長に報告しました。「体験の機会の場」は、民間の土地や建物が自然体験教育に使用される際に、都道府県知事の認定を受けることができる制度で、全国に 25 カ所ありますが、道内では初の認定です。



ふるさとの川へ帰る姿を願って サケ稚魚放流会

サケ稚魚放流会が 4 月 3 日、雨煙別川支流の高橋の沢川で行われました。関係者や親子連れなど約 100 人は、一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長からサケの遡上や雨煙別川の現状の説明を受けた後、サケの稚魚を放流しました。森出琴奈さん（5 歳）は「数えきれないくらいたくさん放流できました。大きくなって帰ってきてほしい」と話していました。



栗山中学校



栗山小学校



栗山高等学校



北海道介護福祉学校